

# 令和6年度 園経営計画 足立区立おおやたこども園

園長 小俣 春美

## 1 園の経営目標

- (1) 子どもの最善の利益を第一に考え、子どもや保護者、地域との信頼関係を築き、『共育』を進めていくことで子どもや保護者にとって安心して自分の思いが出せる園づくりを進める。
- (2) 深い愛情、様々な出会い、関わり合いを通して「かんじるこころ」「かかわるよろこび」「やりぬくつよさ」をもった子どもを育てる。
- (3) 人権尊重の理念に立ち、専門性の学びを活かし、子どもの健全な発達を図る。

## 2 園の現状

- (1) 登園後は、子ども自身が遊ぶ場所や物を選び、遊ぶ姿が見られる。
- (2) 職員は、園全体で子どもと遊ぶ習慣になってきている。
- (3) 子どもは、学年を超えて関わりながら遊び、上の学年に憧れたりする姿が見られ、意欲や思いやりなどの育ちにつながってきている。
- (4) 疲れやすい子どもや転びやすい子どもがいるので、運動遊びを工夫し、体づくりにつなげていく必要がある。

## 3 今年度の重点的項目

<b>重点的に取り組んでいきたい事項－1</b>	子ども自身が「自分は大切な存在である」と実感し、安心して自分を表現できるようにする。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 常に人権意識を持ち、子どもにも職員間でも尊重し合える職員集団をつくる。	ア 『人権の尊重』について具体的な事例から確認する。 イ 月1回、人権の視点で保育を振り返り、園全体で大事にしていくことを確認する。
(2) 生命（いのち）の安全教育を含め、安心、安全な教育・保育に取り組む。	ア 日々の保育の中で、子ども自身が大事にされていると実感できるよう、子どもの姿に合わせて園内の物的環境や人的環境を整備していく。 イ 様々な教材（生物・植物・絵本等）を通して自分自身や友達を大事にする気持ちを育む。
<b>重点的に取り組んでいきたい事項－2</b>	園生活を通して子どもの主体性を育てる。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 年齢発達や経験、興味・関心を把握し、園生活の中で、子どもが意欲的に過ごせるようにする。	ア PDCAサイクルを活用し、子どもが生活に見通しや自信が持てるよう子どもの発達を捉え環境構成を行う。 イ 子ども自身が遊びや生活を選べるよう環境を工夫する。 ウ 子どもとの対話を大事にすることで、のびのび表現できるようにする。
(2) 体を動かして遊ぶことを通して体づくりを行う。	ア 室内外問わず子どもがワクワクして「やってみたい」「面白い」と感じられる遊びを工夫し、体づくりにつなげていく。
<b>重点的に取り組んでいきたい事項－3</b>	園全体の保育の質の向上を図る。
具体的な取り組み	
項 目	具体的な内容
(1) 研修や園内研究での学びを共有し、保育実践に活かす。	ア 園内研究を実施し「子どものやりたい思いが発揮される保育環境と保育者の関わり」をテーマに年3回程度、有識者から講義を受ける。 イ 年に5回保育事例の検討会を行い実践に活かしていく。